

平成30年度 全道少年（U-11）8人制サッカー大会

兼第16回 JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会函館地区予選  
開催要項

主旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める

名称 平成30年度全道少年（U-11）8人制サッカー大会兼第16回JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会函館地区予選

主催 函館地区サッカー協会

主管 函館地区サッカー協会4種委員会・各会場担当チーム

期日 2018年9月8日（土）、9日（日）

会場 鹿部山村グラウンド

#### 1 参加資格

- ① 「参加チーム」は、本年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームでU-11で構成されたチームであること。ただしU-6の選手の参加は認めないものとする。
- ② 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本協会公認コーチ資格（D級以上）を有すること。
- ③ 「参加チーム」は必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
- ④ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- ⑤ 本大会の優勝チームは、2019年度全道少年（U-11）8人制サッカー大会兼第16回JA全農杯チビリンピック小学生8人制大会北海道予選に函館代表として出場を義務づける。全道大会2019年4月開催予定（場所未定）、全国大会2019年度5月。

2 参加チーム チーム編成は、指導者4名、選手16名以上20名までとする。

#### 3 大会形式

- ・3ブロック編成で予選リーグ戦をおこない各ブロック上位1チームで決勝リーグ戦をおこなう。

4 競技規則 本年度（公財）日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」による。  
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める

#### 5 競技のフィールド

- ① フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mとする。

- ② その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。
- ③ ゴールポストの間隔は5 m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15 mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- ④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6 mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3 mずつ)

6 試合球 少年用4号球を使用する。(公認球)各チーム持ち寄り

#### 7 競技者の数および交代

- ① 1チーム常に8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ② 原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
- ③ 第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
- ④ 同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することは不可とする。(事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が1人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める)(延長戦はピリオドの数に含まない)

##### (1) 第1ピリオド

- ・ 予め決められた、第1ピリオド出場予定者が出場する。
- ・ 交代する場合は交代要員が出場する。交代要員全員が事故・ケガなどで出場が困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場出来る。

##### (2) 第2ピリオド

- ・ 予め決められた、第2ピリオドに出場する選手が出場する。
- ・ 交代要員の代わりに第1ピリオドに出場しても出場出来る。交代要員全員が事故・ケガなどで出場が困難となった場合に限り、第1ピリオドに出場した交代要員以外の選手が出場出来る。

##### (3) 第3ピリオド

- ・ 第1、第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場出来る。
- ・ 何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場出来る(=自由な交代)

##### (4) 延長戦

- ・ 交代要員を含め誰でも出場出来る。
- ・ 何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場出来る。(=自由な交代)

- ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

#### 8 競技者の用具

- ① 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。
- ② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ③ ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申し込みの際に記載し、各試合ごとに必ず携行すること。(FP・GK用共)
- ④ 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。

- ⑤ ユニフォームの色・背番号の参加申し込み以降の変更は認めない。
- ⑥ ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づき承認された場合のみ許可する。
- ⑦ 試合開始時のゴールキーパーが着用するユニフォームは大会参加申し込みの際に登録したものとす。ただし、試合途中で交代する状況が発生した場合は、ビブス着用を可とする。

9 テクニカルエリア テクニカルエリアは設置しない。監督またはコーチ・ベンチ役員が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

10 審判員 主審1名と補助審判1名が指名される。

11 試合時間および競技方法

- ① 12分ー12分ー5分ー12分の3ピリオド制とし、インターバルを5分とする。第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総入れ替えとし、第3ピリオドの選手は自由（交代も）とする。
- ② 第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したタイミングでサイドを交代する。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
- ③ 予選リーグ（3ブロック）各1位チームが決勝リーグに進出し、決勝リーグにて函館地区代表を決定する。
- ④ 各リーグの順位決定は勝ち点（勝-3、引分-1、負-0）、当該チームの対戦結果（対戦成績、得失点差、総得点の順）、リーグ内での得失点差、リーグ内での総得点、PK戦方式（2チーム時は当該チーム、3チーム時は抽選による巴戦、4チーム時は抽選によるトーナメント制）の順にて決定する。

12 警告・退場

- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、函館地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員の構成は、委員長、副委員長、大会担当者とする。

13 帯同審判員

- ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員（4級以上）を帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない同一チーム内の他の指導者、保護者が審判業務を行ってもよい。

14 開会式 行わない。

15 閉会式 決勝リーグ会場で行う。

決勝リーグまで残ったチームの選手・監督は全員参加することとする。

16 その他

① 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止する。

② 荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。

③ 選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ等）については、当該チームの責任とする。

④ 大会要項に規定されていない事項については、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。

17 シード権 上位3チームには全日本フットサル大会、次年度の U-12 リーグ戦、全道サッカー少年団大会のシード権を与える。

18 選手登録 別添ファイル（選手名簿）を9月1日（土）17：00まで、Eメールにて u12.fahakodate@gmail.com 小川までお願いします。期日厳守。

19 試合結果はその日のうちに大会担当者《野呂》に連絡すること。

21 6000円